

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

言語文化

1 単元名：

『平家物語』木曾の最期

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 | 「読むこと」において、軍記物語という文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 | 軍記物語という文章の種類を踏まえ、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解を深めつつ、内容や構成、展開などを捉えようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|--|
| 1 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 用言や助動詞などの古典文法のきまりを復習する。 | ○ | | | 【知識・技能】 定期試験、ワークシートの記述の確認 |
| 2 (6) | <ul style="list-style-type: none"> 軍記物語に頻出する音便の特徴と仕組みや現代の言葉との関係を理解する。 和漢混交文や軍記物語の成立の仕方や本文の構成の特徴を理解する。 登場人物の言動を基に、武将の死生観を読み取る。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 定期試験、ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 定期試験、ワークシートの記述の確認 |
| 3 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 武将の死生観について、読み取れたことをまとめて共有する。 「義仲と巴」「義仲と兼平」の関係性を対比し、読み取れたことをまとめて共有する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 定期試験、ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ ワークシートの記述の確認 |

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

言語文化

1 単元名：

『徒然草』神無月のころ

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 作品の内容や解釈を読み取るために、古典を読む上で必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 | 「読むこと」において、作品の内容や作者の考え方を踏まえ、自分のものの見方や考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 | 作品の内容や解釈を読み取るために必要な古典特有の表現などについて理解を深めつつ、作者の考え方を踏まえて自分の考えをもとうとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|--|
| 1 (1) | ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・助動詞や呼応表現などの古典文法について理解する。 | ○ | | | 【知識・技能】 定期試験、ワークシートの記述の確認 |
| 2 (2) | ・学んだ古典文法を活用して本文の内容を読み取る。 ・作者がいつ、どこで、何を見て、どのように思ったのか、読み取れたことを整理する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 定期試験、ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 定期試験、ワークシートの記述の確認 |
| 3 (1) | ・筆者の価値観に対する自分の意見をまとめ、共有する。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 定期試験、ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 |

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

言語文化

1 単元名：

「山月記」

2 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 | 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 | 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文中の漢字の書き取りや語句の意味調べを行うことで語彙を豊かにする。 | ○ | | | 【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験 |
| 2 (6) | <ul style="list-style-type: none"> 作品の舞台背景を踏まえ、李徴の性格や考え方を本文に即して読み解く。 李徴の語りを基に、李徴が虎になった経緯やその後の行動を捉える。 袁慆との比較や「月」の表現の変化を通して、李徴が置かれている立場を読み取る。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 |
| 3 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 典拠となった「人虎伝」の記述と比較し、内容の解釈を深める。 李徴について「人虎伝」と比較し、共通点と相違点を指摘する。 両作品の比較を通した上で、作者が「山月記」で伝えなかったことは何かを考え、文章に表す。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ワークシート・成果物の記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシート・成果物の記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・成果物の記述の確認 |

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

言語文化

1 単元名：

「雑説」

2 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 古典の内容を理解するために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 | 「書くこと」において、古典の内容を基に自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して表現したいことを明確にしている。 | 学習課題に沿って、本文の主張を理解しながら、進んで様々な観点から適切な題材を決めようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|--------|--------|--------|--|
| 1 (4) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 漢文の訓読のきまりを理解する。 論説文という文章の種類や解説文を踏まえて、本文の内容や展開を理解する。 | ○ ○ | | | 【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験 |
| 2 (4) | <ul style="list-style-type: none"> 本文の主張に対する自分の考えをまとめる。 本文の内容について、他にどのような例が考えられるか、自分の知識や体験を踏まえつつその具体例を文章に表す。 | | ○ ○ | ○ ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシート・成果物の記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 |

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

言語文化

1 単元名：

『源氏物語』 「桐壺の更衣」

2 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景、文語表現などを理解している。 | 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 | 作品の歴史的・文化的背景を踏まえて登場人物の心情を読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|--------|-------------|--------|---|
| 1 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文の作者や源氏物語の概要を理解する。 | ○ | | | 【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験 |
| 2 (6) | <ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句の意味を覚える。 本文中の敬語表現を通して、敬語の種類や敬意の方向を確認すると共に登場人物の関係性を理解する。 本文を通して当時の文化を理解する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 | ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ | 【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 |
| 3 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の関係性や境遇の違いについてまとめ、そこから考えられることを記述する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 | | ○ | ○ ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシート・成果物の記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・成果物の記述の確認 |

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

言語文化

1 単元名：

『更級日記』 「あこがれ」

2 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 古典に親しむために、古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 「読むこと」において、日記という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意しながら内容を的確に捉えている。 | 日記の内容を積極的に読み取り、内容や作者の心情について理解を深めようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|--------|--------|---|
| 1 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文の出典や作者について確認する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 |
| 2 (6) | <ul style="list-style-type: none"> 本文における時代、場所等の背景について確認する。 本文中の心情描写を確認する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 | ○ | ○ ○ | ○ ○ | 【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 |
| 3 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 作者の「あこがれ」の内容についてまとめ、それに対する自分の意見を考えて記述する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 | | ○ ○ | ○ ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 |

1 単元名：

力のある主張の条件

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能（技術） | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。 | 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 | 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。 |

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (2) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 社説の本文を読み、内容を把握する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認 |
| 2 (5) | <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成方法を理解する。 本文の内容を踏まえて、自分の主張する内容を決める。 文章の構成を決め、自分の主張を文章化する。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認 |
| 3 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 書き上げた文章を自分で読み、自己採点する。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 成果物の確認 【思考・判断・表現】 成果物の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認 |

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

「間」の感覚

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能（技術） | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------------------------------|---|---|
| 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 | 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 | 学習課題に沿って、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めつつ、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めようとしている。 |

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|--|
| 1 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認 |
| 2 (6) | <ul style="list-style-type: none"> ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 本文中の具体例から主張を読み取り、またその妥当性を吟味する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認 |
| 3 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認 |

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

熱帯の贈与論

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能（技術） | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 | 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 | 学習課題に沿って、文章の構成や展開の仕方について理解を深めつつ、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価しようとしている。 |

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|--|
| 1 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認 |
| 2 (6) | <ul style="list-style-type: none"> ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 本文中の具体例から主張を読み取り、またその妥当性を吟味する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認 |
| 3 (1) | <ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認 |

1 単元名：

球面上の世界と地図

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|-------------------------------------|
| 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 | 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 | 位置や時差、地図などに着目して、課題を追究したり解決しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (1) | 目的地への行き方 ・位置や時差、地図などに着目して、課題を追究したり解決する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 2 (1) | 地球上の位置 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 3 (1) | 世界の時差 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 4 (1) | 世界地図の見方・使い方 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 5 (1) | 地図から読み取る情報 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |

| | | | | | |
|----------|---|---|---|---|---|
| 6 (1) | デジタル化された地図 ・位置や時差、地図などに着目して、課題を追究したり解決する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 7 (1) | 地理情報システムの活用 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 後日 | ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 定期テスト |

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名： 国家の結びつきとグローバル化

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解している。 | 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 | 国家の領域や国家間の結びつきなどに着目して、課題を追究したり解決しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画 (7)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (1) | 国家の領域と国境 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 2 (1) | 日本の領域とさまざまな領土問題 ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テストの確認 |
| 3 (1) | 国家をこえた結びつき ・国家の領域や国家間の結びつきなどに着目して、課題を追究したり解決する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 4 (1) | 交通機関の発達と縮小する世界 ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 5 (1) | 情報・通信で一体化する世界 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 6 (1) | 拡大する世界の貿易と物流 ・国家の領域や国家間の結びつきなどに着目して、課題を追究したり解決する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークシート）」の確認 |
| 7 (1) | グローバル化と人の移動による結びつき ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 後日 | ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期テスト |

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名：

生活・文化の多様性と国際理解

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 | 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 | 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | 世界の生活・文化を写真でつかもう ・世界の様々な写真から、自然的環境・社会的環境を読み取り、それを多面的・多角的に考察し表現する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 2 (1) | 人々の生活を彩る気候 ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを理解する。また地域によって、気候の差異が生まれる要因について理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 3 (1) | 「衣」から見る世界 ・世界の様々な服装の写真を見て、自然環境と衣服の関係性について読み取る。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 4 (1) | 「食」から見る世界 ・自然環境や歴史・文化に応じた食の地域性食べ方や食材、調理法に多様性があることを理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 5 (1) | 「住」から見る世界 ・地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成された人々の「住み方」に関して、多面的・多角的に考察し表現する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 6 (1) | 暮らしを豊かにする産業 ・産業の発展によって人々の生活の利便性が上がったということだけでなく、功罪があることについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 7 (1) | 宗教と人々の暮らし ・多様なアイデンティティを持つ世界の人々の考え方や文化について触れ、理解する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 後日 | ・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通し理解する。 ・世界の特色ある生活文化にはどのようなものがあるか関心を持ち、地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを多面的・多角的に考察し、表現する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・定期テスト |

1 単元名：

持続可能な社会を目指して

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 世界各地で見られる貧困問題、人口・食料問題及び教育・ジェンダー問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 | 世界各地で見られる貧困問題、人口・食料問題及び教育・ジェンダー問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 | 持続可能な開発目標や地球的課題などに着目して、課題を追究したり解決しようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | 持続可能な開発目標(SDGs) ・私たちが直面している地球的課題について理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 2 (1) | 持続可能な開発目標(SDGs) ・持続可能な開発目標の取組みについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 3 (1) | 地球的課題の地理的な側面 ・大量生産、大量消費、大量廃棄などの食糧問題について、問題点や解決方法などを諸資料を基に読み取る。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント(ワークノート)」の確認 |
| 4 (1) | 貧困問題 ・日本や世界の貧困問題についての資料を見て、それを多面的・多角的に考察し表現する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 5 (1) | 人口問題 ・人口増加、減少についてどのような問題があるのか理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |

| | | | | | |
|----------|---|---|---|---|---|
| 6 (1) | 食料問題 ・世界の食糧問題や解決に向けての取り組みについて、資料などを活用しそこから読み取る。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 7 (1) | 持続可能な水の利用 ・世界の水問題やその解決方法、取り組みについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 8 (1) | 健康・福祉問題 ・健康な生活を営むための課題や取り組み、感染症などの問題について資料を活用し、それを多面的・多角的に表現する。 | | | ○ | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 9 (1) | 教育・ジェンダー問題 ・誰もが生きやすい社会の実現に向けての世界や日本の取り組みについて、資料を活用し、それを多面的・多角的に表現する。 | | | ○ | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 後日 | ・世界各地で見られる貧困問題、人口・食料問題及び教育・ジェンダー問題について理解する。 ・世界各地で見られる貧困問題、人口・食料問題及び教育・ジェンダー問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・定期テスト |

1 単元名： 自然と調和した豊かな社会に向けて

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題及び都市・居住問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 | 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題及び都市・居住問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 | 資源・エネルギー問題や地球温暖化問題などに着目して、課題を追究したり解決しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | 技術革新と持続可能な産業化 ・「グリーン経済」についての取り組みについて、その特徴について資料などから読み取る。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 2 (1) | 限りある資源 ・循環型社会について、その取り組みや内容について適切に理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 3 (1) | エネルギー問題 ・日本や世界のエネルギー革命・問題について諸資料から読み取る。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 4 (1) | 都市・居住問題 ・都市問題について、発展途上国と先進国の違いや特徴について、多面的・多角的に表現する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 5 (1) | 地球温暖化問題 ・地球温暖化についてその要因や現在の状況について適切に理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認 |

| | | | | |
|----------|---|---|---|---|
| 6 (1) | <p>陸地の環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂漠化について、諸資料を活用しその要因や解決方法について、多面的・多角的に表現する。 | | ○ | <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業プリント」の確認 |
| 7 (1) | <p>海洋の環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋汚染について、その原因や解決方法について資料などから読み取る。 | | ○ | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |
| 後日 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題及び都市・居住問題などについて理解する。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題及び都市・居住問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 | ○ | ○ | <p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト |

1 単元名：

平和で公正な社会に向けて

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|------------------------------------|
| 世界各地で見られる民族問題、紛争が一定地域の地理的環境や長い歴史をとおして育まれた民族性と深く関連していることを理解している。 | 国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案している。 | 民族問題や紛争などに着目して、課題を追究したり解決しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (2) | 世界の民族と民族問題 ・民族や国家の定義、世界の民族問題について理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 2 (2) | 世界のさまざまな紛争 ・世界の紛争について、多数派・少数派それぞれの立場に立ち、それぞれの主張について多面的・多角的に表現する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認 |
| 3 (2) | さまざまな対立の解決に向けて ・平和な世界の実現に向けての世界や日本の取り組みについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】 ・小テストの確認 |
| 4 (2) | 国際協力とパートナーシップ ・国際協力について、世界の取り組みなどについて資料を基に適切に読み取る。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認 |

| | | | | | |
|----|--|---|---|--|--|
| 後日 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で見られる民族問題、紛争が一定地域の地理的環境や長い歴史をとおして育まれた民族性と深く関連していることを理解する。 ・国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案する。 | ○ | ○ | | <p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト |
|----|--|---|---|--|--|

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

歴史と私たち

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|----------|--|
| 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 | | 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。 |

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (3) | 【歴史の特質と資料】 ・身近な事例から資料を活用しつつ歴史を読み解き、歴史学習への関心を高める。 ・歴史学習に必要な基礎知識を確認する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 |
| | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

産業革命と市民革命

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|-----------------------------------|
| イギリスの産業革命やアメリカの独立、フランス革命といった経済と政治の大変革が従来の秩序を一新し、世界史が新しい段階に入ったことを理解している。 | ヨーロッパの産業革命やアメリカの独立、フランス革命といった経済と政治の大変革が従来の秩序を一新したことについて、意味を理解し、適切に表現している。 | 劇的な変化を迎えた諸地域世界の関係を意欲的に追究しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | 【産業革命】 ・新たな発明により人々の生活がどのように変化したのか、当時の手記や絵などから考える。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |
| 2 (1) | 【アメリカ独立革命】 ・独立宣言を中心とした諸資料を読み取り、人間が生まれながらに持っている権利はどのようなものか考察する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題 |
| 3 (2) | 【フランス革命】 ・経済と政治の大変革が従来の秩序を一新し、世界史が新しい段階に入ったことを理解する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題 |

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

18世紀のアジアの繁栄

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・18世紀の東アジアにおける清および周辺諸国について、十分理解している。 ・18世紀の東アジアで社会が成熟期をむかえ、経済の発展がみられたことについて、十分理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・18私益の芯を中心とする国際秩序が、東アジアの各国の大使栄にあたえた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・18世紀の東アジア諸国の社会・経済について、共通点と相違点を多面的・多角的に考察し、表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・18世紀の清を中心とする国際秩序について、現在の国家や外交のあり方と比較しながら、積極的に知ろうとしている。 ・18世紀の東アジアにおける海を通じた交易の活発化について、地域ごとの具体的な産品にも注目しつつ、積極的に知ろうとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(2)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | 【18世紀の東アジアの政治と国際秩序】 ・18世紀の東アジアにおける清および周辺諸国に関する基礎的知識を地図や史料を提示しながら理解する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |
| 2 (1) | 【18世紀の東アジアの経済と社会】 ・18世紀の東アジア諸国の社会・経済について、共通点と相違点に注意しながら理解する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題 |

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

国民国家の拡大

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・パクス＝ブリタニカをもたらした近代世界システムの構造について、十分理解している。 ・クリミア戦争の影響とロシアの近代化、イタリアとドイツの統一について、十分理解している。 ・アメリカ合衆国の膨張や国民国家としての統合、工業化の進展について、十分理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスが自由貿易政策を展開して「世界の工場」となる過程で、どのように周辺諸国を近代世界システムに組み込んでいったか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ヨーロッパの後発国の国民国家形成について、当時の国際情勢を交えて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。 ・独立後の南北対立の経緯について、それぞれの主要産業の相違に着目しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの経済的覇権や議会制民主主義の在り方が日本にあたえた影響について、積極的に知ろうとしている。 ・イタリアやドイツの国家統一が日本の近代化と同時期であることを踏まえ、積極的に比較・検討しようとしている。 ・国民国家の統合から排除された先住民や、南北戦争後のアフリカ系住民の状況について、積極的に知ろうとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (1) | 【イギリスの繁栄】 ・イギリスが自由貿易政策のもとで利益を増大させ、「世界の工場」と呼ばれたこと、さらには金融の中心ともなっていくことを画像史料を用いて理解する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題 |
| 1 (1) | 【後発国による「上からの近代化」】 ・イタリア・ドイツの統一の過程と、統一後の状況を理解する。 ・オスマン帝国が弱体化した背景を風刺画を用いて考察する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題 |
| 3 (1) | 【ロシアの近代化と南下政策】 ・皇帝アレクサンドル2世の改革及びナロードニキの運動について、それぞれの意図や特徴を理解するとともに、失敗した要因について考察する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 提出課題 |
| 4 (1) | 【アメリカ合衆国の膨張】 ・主要産業の違いが南北の対立をもたらしたことに気付かせるとともに、南北戦争の経緯やその結果国民国家としての統合がすすんだことについて理解する。 | ○ | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 【知識・技能】 提出課題 小テスト |

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

アジア諸国の変貌と日本の開国

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・明治維新の発展や世論の政治参加への期待やその影響についての基本的事項を、政治や社会の変化や国際社会における日本の立場などと関連付けて総合的に理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・近代国家の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本における近代国家の展開に対する関心と課題意識を高めている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (2) | 【オスマン帝国の衰退と西アジア】 ・ロシアがなぜ南下政策を推進するのか地図史料から考察する。 ・南下政策によって西アジアの情勢がどのように変化したのか理解する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題 |
| 2 (2) | 【南アジアと東南アジアの植民地化】 ・ムガル帝国の衰退からインド大反乱に至る経緯について理解する。 ・東南アジアの植民地化によって、世界市場向けの商品作物生産が発展したところを理解する。 | ○ | | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト |
| 3 (2) | 【東アジアの動揺】 ・アヘン戦争が起きた背景とその後のイギリスと清の関係性について理解する。 ・なぜアメリカが日本に開国を求めたのかその理由について考察する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |
| 4 (2) | 【東アジアの情勢と改革】 ・開港後の中国における太平天国の運動とその後の洋務運動について理解する。 ・洋務運動と明治維新の共通点と相違点について、改革の対象や改革の成否に留意しながら考察する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |
| 5 (2) | 【明治初期の日本の外交と東アジアの国際秩序】 ・日本が近代国家成立への一環としてすすめた外交政策の意図を理解する。 ・東アジアの国際関係を欧米諸国のアジア進出と関連付けて理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |
| 6 (2) | 【日本の立憲国家への道のり】 ・政府主導の近代化政策に対する社会の反応をたどることで、日本が立憲国家へと変貌していく過程を理解する。 ・大日本帝国憲法の成立背景と特徴について資料を読んで理解する。 | ○ | | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト |

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

帝国主義の発展

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---------------------------------------|
| ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 | ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 | ・列強の世界分割や、帝国主義の展開について関心を持ち、意欲的に学んでいる。 |

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (2) | 【帝国主義の時代】 ・第二次産業革命の展開と金融資本の形成 海外に市場や原料供給地を求める帝国主義につながったことを理解する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題 |
| 2 (2) | 【列強の世界政策】 ・ヴィルヘルム2世の意向で展開されたドイツの「世界政策」が、イギリス、ロシア、フランス、日本などの外交政策にどのように関係したかを理解する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題 |
| 3 (2) | 【日清戦争と中国分割】 ・日本が国際社会において、主権の回復をめざすためにすすめた条約改正交渉について、その達成のためには何が必要かという問題意識をもちながら考察する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |
| 4 (2) | 【日露戦争とアジア】 ・英露対立を背景として、日清戦争後の信徒列強諸国の関係の変化や、日露対立の進行の過程について理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |
| 5 (2) | 【日本の工業化と社会運動の高揚】 ・明治初期、欧米の進んだ技術の導入は、政府主導ですすめられたこと、その後官営工場の払い下げや貨幣制度の安定などの産業基盤の整備を経て、民間企業が設立され、工業化(産業革命)が起こったことを理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |
| 6 (2) | 【日本の帝国主義と東アジア】 ・日露戦争後、急速に進行した日米対立の原因が満州にあることについて理解する。 ・日露戦争を契機として進行した日本による朝鮮半島の植民地化の過程について理解する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

式の計算

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| ①三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ②多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。 | 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 | ①事象を式の計算の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②式の計算において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (2) | ○整式の乗法 ・三次式の乗法公式を理解し、展開や因数分解の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 2 (3) | ○二項定理 ・パスカルの三角形や二項定理の公式を理解する。 ・二項定理を利用して、式の展開や項の係数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 3 (3) | ○整式の除法 ・整式同士の除法について降べきの順に整理して計算し、商と余りを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 4 (3) | ○分数式 ・因数分解を利用して、分数式を既約分数式に直す。 ・因数分解を利用して、分数式を通分して計算する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 ・振り返り |

1 単元名：

複素数と方程式

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| ①数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ②二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解している。 ③因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 | 日常の事象や社会の自称などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 | ①事象を複素数と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②複素数と方程式において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(13)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (3) | ○複素数 ・二乗して -1 となる数 i について理解し、実数を拡張した複素数について考える。 ・複素数の四則計算や共役な複素数を利用して分母を実数に直す計算をする。 ・ i を使って、負の数の平方根を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 2 (4) | ○二次方程式 ・複素数の範囲ですべての二次方程式の解を求める。 ・判別式 D を利用して、解の種類を判別する。 ・二次方程式の解と係数の関係について理解し、二つ解の和や積を求める。 ・二次式を複素数の範囲で因数分解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 3 (3) | ○因数定理 ・剰余の定理を利用して、整式を一次式で割ったときの余りを求める。 ・因数定理を利用して、三次以上の整式を因数分解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 4 (3) | ○高次方程式 ・因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

式と証明

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---------------------------|
| ①等式、不等式の基本性質や基本的な証明方法を理解している。 ②平方の大小関係について理解して証明に用いることができる。 ③相加平均と相乗平均の大小関係を理解して証明に用いることができる。 | ①等式や不等式を目的に応じて変形し、その式の意味を明確に表現できる。 ②2変数の不等式の証明について考察することができる。 | 相加平均と相乗平均の関係を図形的に調べようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (3) | ○等式の証明 ・恒等式の意味と、等式が恒等式となるための条件について理解する。 ・等式の証明方法について理解し、いろいろな等式の証明をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 2 (5) | ○不等式の証明 ・不等式の基本性質を確認し、不等式の証明方法を理解する。 ・相加平均と相乗平均の大小関係について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| | | | | | |
| | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

点と直線

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| ①2点間の距離や、内分・外分について理解している。 ②平面上の2点間の距離や内分点と外分点の座標を求めることができる。 ③方程式で表された直線を図示することができる。 ④条件にあった直線の方程式を求めることができる。 ⑤2直線の平行条件や垂直条件について理解している。 | ①平面上の2点間の距離の公式を用いて幾何学的な定理を考察することができる。 ②三角形の重心を座標を用いて考察することができる。 ③直線の交点や垂直であるための条件などについて、方程式を用いて調べる解析幾何的な考え方ができる。 | ①点と直線の距離の公式について、複雑な式変形を根気強く理解しようとしている。 ②2直線の交点を通る直線について、多面的に考察しようとしている。 ③グラフ描画ソフトなどを活用して、いろいろと調べようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(15)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (2) | ○直線上の点 ・数直線上にある2点間の距離や、線分の内分点、外分点の座標を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 2 (4) | ○平面上の点 ・座標平面上にある2点間の距離や、線分の内分点、外分点の座標を求める。 ・いろいろな図形の問題を、座標を用いて解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 3 (5) | ○直線の方程式 ・直線の方程式について理解する。 ・1点と傾きが与えられた直線の方程式を求める。 ・2点を通る直線の方程式を求める。 ・2直線の交点を通る直線について考察する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 4 (4) | ○2直線の関係 ・2直線の平行条件と垂直条件について理解する。 ・与えられた直線に平行、垂直な直線の方程式を、それぞれ求める。 ・点と直線の距離を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

円

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ①中心点の座標を用いることにより、円を方程式で表すことができる。 ②円と直線の共有点の座標を求めたり、その位置関係を分類することができる。 ③円の接線の方程式を求めることができる。 ④2つの円の位置関係を中心間の距離で分類することができる。 | ①図形を「条件を満たす点の集合」とする数学的な見方や考え方を認識できる。 ②円の方程式を一般形から標準形に変形するために、平方完成を用いることを着想できる。 ③円と直線の位置関係を、判別式や距離を用いて多面的に考察することができる。 | ①図形を「条件を満たす点の集合」とする考え方を理解し、いろいろな点に関する条件からその軌跡を求める考え方を身につけている。 ②x, yについての2次方程式と図形との関係を調べようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (2) | ○円の方程式 ・条件から円の方程式を求める。 ・平方完成をし、方程式から円の中心の座標と半径を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 2 (2) | ○円と直線 ・円と直線の共有点の座標を求める。 ・円と直線の位置関係を、共有点の個数から考える。 ・円と直線の位置関係を、中心点と直線の距離から考える。 ・円の接線の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| | | | | | |
| | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

軌跡と領域

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ①図形を与えられた条件を満たす点の集合としてみる考え方について理解している。 ②不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、不等式で表される領域を求めたり、逆に、領域を不等式で表したりすることができる。 ③連立不等式の表す領域を図示できる。 | ① x, y についての不等式を座標平面上の点の集合として図示する考え方を認識できる。 ② x, y の1次式がとる値の最大値や最小値は領域を調べればよいことを理解して考えることができる。 | ①アポロニウスの円についてさらに詳しく調べようとしている。 ②領域を求めたり確かめたりするのに、代表となる点について調べようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (3) | ○軌跡と方程式 ・与えられた条件を満たす点全体の描く図形を、方程式を用いて表す。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 |
| 2 (2) | ○不等式の表す領域 ・直線や円を境界にもつ点の集合について理解する。 ・領域が不等式で表されることを理解する。 ・不等式の表す領域を図示する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 3 (2) | ○連立不等式の表す領域 ・連立不等式の表す領域の意味を理解し、その領域を図示する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

三角関数

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| ①角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ②三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ③三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 | ①弧度法について理解して、弧度法と度数法の変換をすることができる。 ②三角関数の値の変化やグラフの特徴について考察することができる。 ③三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。 | ①三角関数のグラフを活用して、周期や最大・最小などの基本的な性質を考察しようとしている。 ②三角関数を含む不等式を解くのに、グラフによる解法についても調べようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(14)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (3) | ○一般角と弧度法 ・角の概念を一般角に拡張し、角の大きさを動径の回転量として考える。 ・弧度法と度数法の違いを理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 |
| 2 (5) | ○三角関数の性質 ・三角関数の定義について理解する。 ・三角関数の相互関係を理解し、1つの値から他の2つの値を求める。 ・三角関数の周期性について調べる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | ○ | | 【知識・理解】 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 3 (4) | ○三角関数のグラフ ・単位円を用いて、三角関数のグラフをかき。 ・グラフから、三角関数の周期性や対称性を考察する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | ○ | | 【知識・理解】 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 4 (2) | ○三角関数を含む方程式・不等式 ・単位円を用いて、基本的な三角方程式を解く。 ・単位円やグラフを用いて、基本的な三角不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

加法定理

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| ①三角関数の加法定理や2倍角の公式、半角の公式について理解している。 ②三角関数の合成について理解している。 | ①2直線のなす角についてタンジェントの加法定理を用いて解くことができる。 ②合成した三角関数の最大値や最小値を求めたり、その方程式を解くことができる。 | ①和と差の公式について調べようとしている。 ②三角関数を含む方程式について、グラフを用いて多角的に調べようとしている。 ③グラフ描画ソフトなどを活用しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (3) | ○加法定理 ・加法定理を理解し、 15° などの特別な角の三角関数の値を求める。 ・2直線のなす角を、加法定理を用いて求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 2 (1) | ○加法定理の応用 ・加法定理から2倍角の公式を導く。 ・三角関数の合成の考え方を理解し、関数の最大値や最小値を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| | | | | | |
| | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

指数関数

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| ①累乗や累乗根の定義を正しく理解している。 ②指数を有理数に拡張する意義を理解し、指数法則を用いて、指数計算ができる。 ③指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 | ①指数関数の式とグラフの関係について多面的に考察し、指数関数の値の変化やグラフの特徴について考察できる。 ②数の大小比較をするには底を揃える必要があることを認識している。 ③指数関数を含む方程式や不等式を解くには底を揃える必要があることを認識している。 | ①指数が拡張されていく過程に興味、関心を示す。 ②指数関数のグラフについて、グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (6) | ○指数の拡張 ・指数が実数のときにも指数法則が成り立つことを理解する。 ・累乗や累乗根の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 2 (4) | ○指数関数 ・指数関数のグラフの特徴を考察する。 ・指数関数を含む方程式や不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| | | | | | |
| | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

対数関数

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ①対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算や底の変換ができる。 ②対数関数の値の変化やグラフの特徴を理解している。 ③常用対数を活用して、桁数などを求めることができる。 ④対数を含む方程式・不等式を解くことができる。 | ①指数と対数を相互に関連付けて考えることができる。 ②数の大小比較をするには底を揃える必要があることを認識している。 ③対数関数を含む方程式や不等式を解くときにも底を揃える必要があることを認識している。 ④常用対数を利用して、小数の位を考察することができる。 | ①常用対数と桁数の関係を一般の場合について調べようとしている。 ②常用対数と小数の位の関係を一般の場合について調べようとしている。 ③対数関数のグラフについて、グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (4) | ○対数とその性質 ・対数の定義を理解し、対数の値を求める。 ・指数の性質から、対数の性質を導く。 ・底の変換公式を用いて、対数の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト |
| 2 (5) | ○対数関数 ・対数関数のグラフをかく。 ・指数関数との関連を考える。 ・対数方程式や対数不等式を解く。 ・常用対数を用いて、桁数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| | | | | | |
| | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学B

1 単元名：

① 数列とその和

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------------------------------------|--|--|
| 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 | 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 | ①事象を数列とその和の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②数列とその和において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|--|
| 1 (1) | ○数列 ・数列の一般項をnを使って表す。 ・一般項から初項から第k項まで求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 2 (2) | ○等差数列 ・等差数列の規則性を理解し、初項と公差から一般項を求める。 ・等差数列の性質を利用し、等差中項を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 3 (3) | ○等差数列の和 ・等差数列の性質を利用し、初項から第n項までの和を求め方を理解する。 ・等差数列の初項や末項、公差、項数から等差数列の和を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント |

| | | | | | |
|----------|--|---|---|---|---|
| 4 (2) | <p>○等比数列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等比数列の規則性を理解し、初項と公比から一般項を求める。 ・等比数列の性質を利用し、等比中項を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | ○ | ○ | <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 5 (3) | <p>○等比数列の和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等比数列の性質を利用し、初項から第n項までの和を求め方を理解する。 ・等比数列の初項や末項、公比、項数から等比数列の和を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | ○ | | <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学B

1 単元名：

② いろいろな数列

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------------------------|---|--|
| いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 | 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。 | ①事象をいろいろな数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②いろいろな数列において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (2) | ○数列の和と Σ 記号 ・自然数の2乗の和の求め方と理解し、和の公式を利用する。 ・ Σ 記号の意味や使い方を理解し、和を求める。 ・ Σ 記号の性質を使い、いろいろな数列の和を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 2 (1) | ○階差数列 ・階差数列を利用して、等差数列でも等比数列でもない数列の一般項を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | ○ | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り |
| 3 (3) | ○数列の和と一般項 ・数列の和 S_n を利用して一般項 a_n を求める。 ・分数式を部分分数に分解することで、数列の和を求める。 ・数列の和 S_n を工夫して計算する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学B

1 単元名：

③ 漸化式と数学的帰納法

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| ①漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 ②数学的帰納法について理解している。 | 自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 | ①事象を漸化式と数学的帰納法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②漸化式と数学的帰納法において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (6) | ○漸化式 ・漸化式で定められている数列の各項を計算して求める。 ・漸化式で定められている数列の一般を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 2 (6) | ○数学的帰納法 ・数学的帰納法の仕組みを理解し、自然数に関する命題を証明する。 ・数学的帰納法を用いて、等式や不等式について証明する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | ○ | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り |

1 単元名：

④ 確率分布

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| ①標本調査の考え方について理解している。 ②確率変数と確率分布について理解している。 | 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 | ①事象を確率分布の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②確率分布において問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (2) | ○確率変数と確率分布 ・確率変数と確率分布の関係を理解し、表にまとめる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 2 (6) | ○確率変数の期待値と分散 ・数学I「データの分析」や数学A「確率」の学習内容を復習する。 ・確率変数の期待値や分散、標準偏差を求める。 ・確率変数Xに対して、 $aX + b$ や X^2 の期待値や分散、標準偏差を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | ○ | | 【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り |
| 3 (4) | ○確率変数の和と積 ・確率変数の和の期待値を求める。 ・独立な確率変数の期待値や分散、標準偏差を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学B

1 単元名：

⑤ 二項分布と正規分布

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------------------|--|---|
| 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 | 二項分布や正規分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 | ①事象を二項分布や正規分布の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②二項分布や正規分布において問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|--|
| 1 (6) | ○二項分布 ・数学Aで学習した「反復試行の確率」や数学Ⅱで学習した「二項定理」と二項分布の関係を理解する。 ・二項分布の期待値や分散、標準偏差を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | ○ | | ○ | 【知識・理解】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り |
| 2 (6) | ○正規分布 ・正規分布曲線の性質について理解する。 ・正規分布表を用いて、標準正規分布に従う確率変数の確率を求める。 ・確率変数の標準化する。 ・正規分布の性質について理解する。 ・二項分布と正規分布による近似について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 | | ○ | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り |

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

物体の運動

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 物体の運動について、実験、観察を通して探求し、速度、加速度と落下運動の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 | 物体の運動について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。 | 物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (2) | <ul style="list-style-type: none"> 速度についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | | | ○ | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ノートやプリント、問題集等の記述の確認</p> |
| 2 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 加速度についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | ○ | | | <p>【知識・技能】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> |
| 3 (6) | <ul style="list-style-type: none"> 落下運動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | ○ | ○ | | <p>【知識・技能】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> |

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

運動の法則

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 運動の法則について、実験、観察を通して探求し、力のつりあい、運動の法則、摩擦をうける運動の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 | 運動の法則について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。 | 運動の法則に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな力についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 | | | ○ | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ノートやプリント、問題集等の記述の確認</p> |
| 2 (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・力の合成・分解やつりあいについての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 | | ○ | | <p>【思考・判断・表現】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> |
| 3 (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・運動の3法則についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 | | | ○ | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ノートやプリント、問題集等の記述の確認</p> |
| 4 (3) | <ul style="list-style-type: none"> ・運動方程式についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 | ○ | ○ | | <p>【知識・技能】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> |
| 5 (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・摩擦を受ける運動についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 | ○ | | | <p>【知識・技能】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> |

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

仕事と力学的エネルギー

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 仕事と力学的エネルギーについて、力のつりあい、運動の法則、摩擦をうける運動の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 | 仕事と力学的エネルギーについて、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。 | 仕事と力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (2) | <ul style="list-style-type: none"> 仕事と仕事率についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | ○ | | | 【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 |
| 2 (2) | <ul style="list-style-type: none"> 運動エネルギーについての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認 |
| 3 (2) | <ul style="list-style-type: none"> 位置エネルギーについての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 |
| 2 (2) | <ul style="list-style-type: none"> 力学的エネルギーについての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認 |

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

熱とエネルギー

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 熱について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 | 熱について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見だして思考し、表現している。 | 熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (2) | <ul style="list-style-type: none"> 熱と温度についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 |
| 2 (2) | <ul style="list-style-type: none"> エネルギーの変換と保存についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認 |

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

波の性質

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| 波と音波について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。 | 波と音波について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。 | 波と音波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 波の表し方と波の要素についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | | | ○ | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ノートやプリント、問題集等の記述の確認</p> |
| 2 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 波の重ね合わせと反射についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | ○ | | | <p>【知識・技能】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> |
| 3 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 音波の性質についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | | ○ | | <p>【思考・判断・表現】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> |
| 6 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 物体の振動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 | ○ | ○ | | <p>【知識・技能】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> |

1 単元名：

生物の多様性と共通性

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <p>すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解しており、原核細胞と真核細胞の違いについても、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。</p> <p>試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。</p> | <p>資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見いだして表現したり、細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察したりすることができる。</p> | <p>原核細胞と真核細胞について、その細胞に含まれる細胞小器官を基に、違いを理解しようとする。</p> |

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | <p>○生物の多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物は共通の祖先が進化して多様化したことを理解する。 <p>○生物の共通性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての生物は細胞からできており、DNAによる細胞の複製、代謝、恒常性を保つことができる共通性を持つことを理解する。 | | ○ | | <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 |
| 2 (1) | <p>○細胞の構造と働き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞には、核をもたない原核細胞と、核をもつ真核細胞があること、真核細胞の内部には細胞小器官があることを理解する。 | ○ | | | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容を確認 ・小テスト ・定期試験 |
| 3 (1) | <p>○細胞を構成する物質</p> <p>生体を構成する各物質の主な役割を理解する。</p> <p>○単細胞生物と多細胞生物</p> <p>単細胞生物の共通性と相違性について理解する。</p> | | ○ | | <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 |
| 4 (1) | <p>○顕微鏡による細胞の観察</p> <p>試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得する。</p> <p>○生物の多様性と共通性の振り返り</p> <p>振り返りシートにより学習を振り返る。</p> | ○ | | ○ | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験プリントの記述内容を確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出課題の確認 |

1 単元名：

細胞とエネルギー

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <p>生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 実験において、試験管や薬品を扱う技能を習得している。</p> | <p>呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。</p> | <p>資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。</p> |

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (2) | <p>○代謝とエネルギー ・代謝 体内での化学反応の過程全体を代謝といい、同化と異化に分けられることを理解する。 ・エネルギーとATP 同化と異化に伴うエネルギーの出入りには、ATPが仲立ちをすることと、その仕組みを理解する。</p> | ○ | | | <p>【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験</p> |
| 2 (1) | <p>○酵素 ・触媒と酵素 自身は変化せず、繰り返し特定の化学反応を促進する物質を触媒ということ、生体触媒を酵素ということを理解する。 触媒と酵素の性質を理解する。</p> | ○ | | | <p>【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験</p> |
| 3 (1) | <p>○触媒と酵素の実験 試験管や薬品を扱う技能を習得する。 カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。</p> | ○ | ○ | | <p>【知識・技能】 ・実験プリントの記述内容を確認 ・提出課題の確認 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験</p> |
| 4 (2) | <p>○光合成と呼吸 光合成と呼吸の仕組みと関係を理解する。 呼吸と光合成からエネルギーを得る方法を関連づけて考察し、表現できる。 ○細胞とエネルギーの振り返り 振り返りシートにより学習を振り返る。</p> | | ○ | ○ | <p>【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認</p> |

1 単元名：

遺伝情報とDNA

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解し、その様子が光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの性質や構造を科学的に考察することができる。 ・DNAの複製から分配までを理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解しようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (1) | ○遺伝子の本体 <ul style="list-style-type: none"> ・DNAと染色体の関係を理解する。 ・ゲノムがどのようなものか説明できる。 | ○ | | | 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 |
| 2 (2) | ○DNAの構造 <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報を担うDNAの構造的な特徴を見いだして理解する。 ・DNAの構造とその特徴を説明できる。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 |
| 3 (2) | ○DNAの複製と分配 <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの複製を塩基の相補性と関連付けて理解する。 ・DNAの複製と分配について意義と重要性を説明できる。 | ○ | | | 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 |
| 4 (1) | ○体細胞分裂の観察 <ul style="list-style-type: none"> ・植物の体細胞分裂のようすを光学顕微鏡で観察することができる。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・実験プリントの記述内容を確認 ・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 |

1 単元名：

遺伝情報とタンパク質の合成

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・光学顕微鏡で遺伝子の位置を観察する技能を習得している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|--|
| 1 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ○遺伝子とタンパク質 ・生物の特徴がタンパク質の違いによって決まることを理解する。 ・タンパク質に多くの種類がある理由を説明できる。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 |
| 2 (2) | <ul style="list-style-type: none"> ○タンパク質の合成 ・遺伝子とタンパク質の関係性を見いだすとともに、タンパク質の合成について理解する。 ・遺伝情報をもとにタンパク質を合成する過程を説明できる。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期試験 |
| 3 (2) | <ul style="list-style-type: none"> ○遺伝子の発現 ・細胞の種類や機能は発現する遺伝子の違いによって異なることを理解する。 ・発現する遺伝子は時期によって異なる場合があることを理解する。 ○パフの観察 ・ユスリカのだ腺染色体を染色し、パフの形状と染色の様子を観察する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・実験レポートの記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 |
| 4 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ○ゲノムと遺伝子 ・遺伝子・遺伝情報とゲノムの関係を理解する。 ・DNAの中での遺伝子の存在と位置を理解する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・実験レポートの記述内容を確認 ・定期試験 |

1 単元名：

体内環境

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| 体内環境が一定の範囲に保たれることと、その意味を理解している。 また、腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 ・解剖など生体を扱う技能を習得している。 | 腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 | 外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (1) | ○体内環境と恒常性 ・体内環境が一定の範囲に調節されていることを理解する。 ・体内環境の意味とその役割を理解する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 2 (2) | ○体液とその働き ・体内環境である体液の構成と働きを理解する。 ・体内環境の維持にかかわる血液凝固のしくみを理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 3 (2) | ○体液の調節 ・体内環境の維持に重要な役割をはたす肝臓と腎臓の働きを理解する。 ・肝臓と腎臓による体液の調節を理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| | | | | | |

1 単元名：

体内環境の維持のしくみ

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 また、ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての正しい知識を得ている。 | 体の調節に関する観察、実験、資料から得られたデータを比較・分析することにより、結論を導き出すことができる。血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 | 観察、実験、資料に基づいて、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見だし、理解しようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | ○情報の伝達 ・体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見だして理解する。 ・情報の伝達の概要について理解する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 2 (2) | ○自律神経系による情報伝達と調節 ・体内環境の維持を自律神経系と関連付けて理解する。 ・神経系の構成と自律神経系の働きを理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 3 (2) | ○内分泌系による情報伝達と調節 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を理解する。 ・ホルモン分泌の調節の仕組みを理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 4 (2) | ○内分泌系と自律神経系による調節 ・ホルモンと自律神経の働きによって体内環境が維持されていることを理解する。 ・血糖濃度調節のしくみと、その異常で起こる疾病を説明できる。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |

1 単元名：

免疫

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|-------------------------------|
| 病原体などの異物を認識・排除するしくみや免疫の医療への応用，ヒトの免疫疾患について理解している。 | 資料に基づいて，異物を排除する防御機構が備わっていることを見出すことができ，そのしくみを体系的に考察し，表現することができる。また，ヒトの免疫疾患について，身近な例をもとに説明することができる。 | 病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (1) | ○生体防御と免疫 ・ヒトには異物を排除する防御機構がそなわっていることを見いだして理解する。 ・免疫応答の概要と、免疫にかかわる細胞や器官を理解する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 2 (1) | ○自然免疫のしくみ ・体内への異物の侵入を防ぐ防御機構を理解する。 ・体内に侵入した異物に対して、非特異的に働く免疫のしくみを理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 3 (2) | ○獲得免疫のしくみ ・体内に侵入した異物に対して特異的に働く免疫のしくみを理解する。 ・同じ疾患に二度かかりにくい理由に気づき、その応用例を理解する。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 4 (2) | ○免疫と疾患 ・免疫が医療に応用されていることを理解する。 ・免疫が過激に働く疾患や免疫の機能が低下する疾患のしくみを理解する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |

1 単元名：

植生とその成り立ち

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| 陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 野外で行う調査・実験の方法や、インターネットや文献などを用いて調査する方法を習得している。 | 資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解することができる。 植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。 | 資料に基づいて、植生が変化する要因を見だし、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。 |

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (1) | ○生態系とその成り立ち ・生物と環境がどのように関係しているかを理解する。 ・生態系がどのように成り立っているかを理解する。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認 |
| 2 (3) | ○植生とその変化 ・植生とはどのようなもので、どのように分類されるかを理解する。 ・植生に影響を与える要因を見だし、どのように影響しているかを理解する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 |
| 3 (2) | ○遷移のしくみ ・遷移がどのようにして進むかを理解する。 ・遷移の進行を、その要因を踏まえて理解する。 | ○ | ○ | | 【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 |
| | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

ダンス

2. 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|--|
| ○知識 ①自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて言ったり書きだしたりしている。 | ○技能 ①はじめとおわりを付け、ひとまとまりの作品にまとめることができる。 ②緩急強弱のある動きや空間の使い方や場面の転換などで、変化を付けたひと流れの動きにすることができる。 | ①それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見つけている。 ②選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 | ①ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。 ②一人ひとりの違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。 |

3. 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | | | |
|-----------------|---------------|-----------------|--------------|------|--------|--------|----|-------|------|----|----|--|--|
| 学習の流れ (学習過程) | 0 | 出席確認、健康観察、本時の説明 | | | | | | | | | | | |
| | 10 | テオリシヨン | ウォーミングアップ・柔軟 | | グループ練習 | グループ練習 | 発表 | 振り返り会 | | | | | |
| | 20 | | 一流れの動き | 群の動き | | | | | | | | | |
| | 30 | 対極の動き | グループ練習 | | | | | | 中間発表 | | | | |
| | 40 | | | | | | | | | | | | |
| | 50 | | | | | | | | | | | | |
| 60 | 本時の振り返り、次回の連絡 | | | | | | | | | | | | |
| 指導・評価 | 観点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | | |
| | 知・技 | 知 | | | ①○ | | | | | | ①● | | |
| | | 技 | | ①○ | | ②○ | | ①● | ②● | | | | |
| | 思・判・表 | | ①○ | ②○ | | ①● | ②● | | | | | | |
| 主体的態度 | ①○ | | ①● | ②○ | | | | ①● | | ②● | | | |

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

ネット型：卓球

2. 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|--|
| <p>○知識</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて具体例を挙げている。</p> <p>②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて具体例を挙げている。</p> | <p>○技能</p> <p>①ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> | <p>①ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。</p> | <p>①自己や仲間の課題解決に向けた話し合いに貢献しようとしている。</p> |

3. 単元（題材）の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 時間 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
|-----------------|---------------|------------------|------------|-----|-----|-------|----|----|----|---------------|----|--|
| 学習の流れ (学習過程) | 0 | 本時の説明、本時の目標、準備運動 | | | | | | | | | | |
| | 10 | オリエンテーション | ラリー(反復練習) | | | | | | | ダブルス グループ | | |
| | 20 | | フォア | バック | サーブ | 回転のかけ | 技能 | 知識 | | | | |
| | 30 | | | | | | | | | ゲーム (ダブルス) | | |
| | 40 | | | | | | | | | | | |
| | 50 | | ゲーム(シングルス) | | | | | | | | | |
| 60 | 本時の振り返り、次回の連絡 | | | | | | | | | | | |
| 指導・評価 | 観点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| | 知・技 | 知 | ①○ | | | ②○ | | | ①● | | ②● | |
| | | 技 | | ①○ | ①○ | | | ①● | | | | |
| | 思・判・表 | | | | | ①○ | | | ①● | | ①● | |
| 主体的態度 | | | ①○ | | | | | ①● | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

ベースボール型：ソフトボール

2. 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学 に取り組 態度 |
|---|---|---|--|
| <p>○知識</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。</p> <p>②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて具体例をあげている。</p> | <p>○技能</p> <p>①体の軸を安定させてバットを振り抜くことができる。</p> <p>②タイミングを合わせてボールを捉えることができる。</p> <p>③捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを取ることができる。</p> <p>④狙った方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げるができる。</p> | <p>①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。</p> | <p>①互いに練習相手になり仲間を助したりして互いに助けおうとしている。</p> <p>②健康・安全を確保しようとしている。</p> |

3. 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | | | |
|-------|--------------------------|-------------------------|-----------------|----|-----|-----------|-------|---------|-----|---------|---------|--|--|
| 0 | 本時の説明・グループごとの準備運動・補強運動など | | | | | | | | | まとめのゲーム | まとめのゲーム | | |
| 10 | オリエンテーション | <学びなおし> | | | | 課題発見、課題解決 | 技能テスト | まとめのゲーム | | | | | |
| 20 | | キャッチボール、ゴロ、フライ、ピッチング | バッティングとゴロの捕球・送球 | | | | | | | | | | |
| 30 | | ミニゲーム① | ミニゲーム② | | | | | | | | | | |
| 40 | | フォースプレーゲーム | タッチアウトゲーム | | | | | | | | | | |
| 50 | | 健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標 | | | | | | | | | | | |
| 60 | | | | | | | | | | | | | |
| 指導・評価 | 知 | ①○ | | | | | ①● | | | | | | |
| | 技 | | ①○ | ②○ | ③④○ | | | ①②● | ③④● | | | | |
| | 思・判・表 | | | ①○ | | ②○ | ①● | | | ②○ | | | |
| | 主体的態度 | ①○ | | | | ②○ | | | | ①● | ②○ | | |



習
む

習た言、合い全う。

| |
|---|
|) |
| |
|) |
| |
| |
| ● |
| ● |

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

体づくり運動

2. 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む |
|--|--|--|
| <p>○知識</p> <p>①定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを言ったり書き出したりしている。</p> | <p>○技能</p> <p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。</p> | <p>①ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</p> <p>②課題を解決するために仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</p> |
| | | <p>①一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしている。</p> <p>②自己や仲間の課題解決に向けた話し合いに貢献している。</p> |

3. 単元の指導と評価の計画

(3)

時間扱い ○ 「記録に残す評価」

| 時間 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
|-----------------|-------------|--------------|-------|------------|---|---|---|---|---|---|----|--|
| 学習の流れ (学習過程) | 0 | オリエンテーション | 本時の説明 | | | | | | | | | |
| | 10 | | リズム運動 | グループで計画・実行 | | | | | | | | |
| | 20 | | | | | | | | | | | |
| | 30 | ・補強運動 ・講義 | | | | | | | | | | |
| | 40 | | | | | | | | | | | |
| 50 | 本時の振り返り、次回の | | | | | | | | | | | |
| 指導・評価 | 観点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| | 知・技 | 知 | ①○ | | | | | | | | | |
| | | 技 | | ①● | | | | | | | | |
| | 思・判・表 | | ①○ | ②● | | | | | | | | |
| 主体的態度 | ①○ | | ②● | | | | | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

体育理論

2. 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <p>○知識</p> <p>①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったことについて具体例を挙げている。</p> | <p>○技能</p> <p>①ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。</p> <p>②味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p> | <p>①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実各科目の目標及び内容や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を伝えている。</p> |

3. 単元（題材）の指導と評価の計画 (6)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 時間 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
|-----------------|-------|-----------|-----------------|----|----|----|----|----|
| 学習の流れ (学習過程) | 0 | オリエンテーション | 出席確認、健康観察、本時の説明 | | | | | |
| | 10 | | 調べ学習 | | | | | |
| | 20 | | グループワーク | | | | | |
| | 30 | | 発表 | | | | | |
| | 40 | | 振り返り、次回の目標 | | | | | |
| 50 | | | | | | | | |
| 指導・評価 | 観点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| | 知・技 | 知 | ①○ | | | | | ①● |
| | | 技 | | | ①○ | ②○ | ①● | ②● |
| | 思・判・表 | | ①○ | | | ①● | | |
| 主体的態度 | ①○ | | | ①● | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

保健

1. 単元名：

労働災害と健康

2. 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <p>①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、言ったり書き出したりしている。</p> | <p>①労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を書き出したりして説明している。</p> <p>②働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、プリントなどに書き出したりして説明している。</p> | <p>労働災害と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p> |

3. 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 時間 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
|-----------------|-------|---------------|---------------|------|--------------|---------|-------|---|---|---|----|--|
| 学習の流れ (学習過程) | 0 | 出席確認、前回の復習 | | | | | | | | | | |
| | 10 | 働くことと健康について説明 | 労働災害と健康について説明 | 調べ学習 | 健康的な職業生活について | グループワーク | | | | | | |
| | 20 | | | | | | | | | | | |
| | 30 | ワーク | | | | | 意見の共有 | | | | | |
| | 40 | | | | | | | | | | | |
| | 50 | まとめ、次回の確認 | | | | | | | | | | |
| 観点 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| 指導・評価 | 知・技 | 知 | | ○ | | | ○ | | | | | |
| | | 技 | | | | | | | | | | |
| | 思・判・表 | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| | 主体的態度 | ○ | | ○ | | | | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

保健

1. 単元名：

環境と健康

2. 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| <p>①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて言ったり書き出したりしている。</p> | <p>人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策について、プリントなどに書き出したりして説明している。</p> | <p>環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p> |

3. 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

「記録に残す評価」

| 時間 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
|-----------------|-----------|--------------|---------------|--------------|------------------|-------------------|---------|-------|---|---|----|--|
| 学習の流れ (学習過程) | 0 | 出席確認、前回の復習 | | | | | | | | | | |
| | 10 | 大気汚染と健康について悦 | 水質汚濁と健康について説明 | 土壌汚染と健康について悦 | 環境と健康にかかわる対策について | ごみの処理と上下水道の整備について | グループワーク | | | | | |
| | 20 | | | | | | | | | | | |
| | 30 | | | | | | | 意見の共有 | | | | |
| | 40 | ワーク | | | | | | | | | | |
| 50 | まとめ、次回の確認 | | | | | | | | | | | |
| 指導・評価 | 観点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| | 知・技 | 知 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| | | 技 | | | | | | | | | | |
| | 思・判・表 | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 主体的態度 | | | | ○ | ○ | | | | | | | |

1. 題材名：

三線にチャレンジ
A表現(2) 器楽 B鑑賞(1) 鑑賞 [共通事項](1)

2. 題材の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <p>三線や沖縄音楽に関する知識を身に付け、文化や歴史的背景との関わりを理解している。 【知識・器楽イ(ア)】</p> <p>「工工四」の読み方を理解し、三線の演奏に必要な運指や爪の使い方、楽器の構え方などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ(ア)】</p> | <p>三線や沖縄音楽の特徴を捉えて三線の演奏を鑑賞し、楽器や曲の特徴を生かした表現ができるよう、個人で試行錯誤したり、他者と意見を交換しながら演奏の学習活動に取り組んでいる。</p> | <p>三線の音色や沖縄音楽の特徴に興味を持ち、主体的・協働的に三線の演奏及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

3. 題材の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|------|--|--------|---|---|----------------------------|
| 1(1) | 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | 三線と沖縄音楽の歴史、楽器の特徴、各部の名称を知り、三線の演奏を鑑賞する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ワークシート |
| 2(3) | 楽器の扱い方、構え方、工工四の読み方について知る。 | ○ 知 | | | 【知識・技能】 ワーク |
| | 左手の弦の押さえ方や右手の爪の動かし方について学習し、練習しながら工工四の読譜に慣れる。 | ○ 技 | | | 【知識・技能】 活動観察 |
| 3(5) | 「島唄」の練習に取り組む。個人練習をし、ペアでアドバイスをし合う。 | | ○ | | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | 学習した用語、記号についての確認テストを受ける。 | ○ 知 | | | 【思考・判断・表現】 活動観察 |
| 4(1) | 実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | | ○ 技 | | | 【知識・技能】 確認テスト 実技試験 |

1. 題材名： ハーモニーを感じて歌おう
A表現（1）歌唱 B鑑賞（1）鑑賞 [共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <p>曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【知識・歌唱イ（イ）】</p> <p>創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方、ハーモニーを意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【技能・歌唱ウ（ウ）】</p> | <p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p> | <p>各声部の役割やテクスチャの変化を考えて合唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

3. 題材の指導と評価の計画 （ 11 ）時間扱い 「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|------|--|--------|---|---|----------------------------|
| 1(1) | 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | 歌唱に必要な用語、記号について学習する。 | ○ 知 | | | 【知識・技能】 ワークシート |
| 2(2) | 「上を向いて歩こう」の上下パートの音取りをする。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | 「上を向いて歩こう」について、上下パートに分かれて歌唱する。 | ○ 技 | | | 【知識・技能】 活動観察 |
| 3(5) | 「うたをうたうとき」の各パートの音取りをする。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | 学習した用語、記号について確認する。 | ○ 知 | | | 【知識・技能】 確認テスト |
| 4(2) | 「うたをうたうとき」について、各パートに分かれて歌唱する。 | ○ 技 | | | 【知識・技能】 活動観察 |
| | 「うたをうたうとき」の歌詞の内容について考察し、どのように表現するか意識する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ワークシート |
| 5(1) | 実技試験を受け、今まで学んだ知識や技能を生かして歌唱することができるか確認する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | | ○ 技 | | | 【知識・技能】 実技試験 |

1. 題材名：

ピアノ五重奏「ます」を聴こう
B鑑賞(1)鑑賞 [共通事項](1)

2. 題材の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 【知識・鑑賞イ(ア)】 | ピアノ五重奏の楽器のそれぞれの音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって楽曲を鑑賞している。 | ピアノ五重奏の楽器や、シューベルトの生きた時代とその歴史背景を理解することに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

3. 題材の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|------|--|--------|---|---|----------------------------|
| 1(1) | 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | 鑑賞に必要な用語、記号について学習する。 | ○ 知 | | | 【知識・技能】 ワークシート |
| 2(1) | ピアノ五重奏の楽器について知る。 | ○ 知 | | | 【知識・技能】 ワークシート |
| | それぞれの楽器の特徴についてワークシートにまとめ、グループで意見を交換する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ワークシート |
| 3(1) | 「ます」を鑑賞する。 | | | ○ | 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート |
| | 楽曲の特徴についてワークシートにまとめ、グループで意見や感想を交換する。 | | ○ | | 【思考・判断・表現】 ワークシート |

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

美術Ⅱ

1. 題材名：

コラグラフ（版画）

2. 題材の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <p>知 いろいろな種類の版画作品を鑑賞し、技法についての理解を深め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>技 素材の質感を見極め、創意工夫をして表現をしている。</p> | <p>発 素材の形や組み合わせを試行錯誤して、版画表現のイメージを膨らませている。</p> | <p>態表 版画表現に関心を持ち、意欲的に制作に取り組んでいる。</p> <p>態鑑 意欲的に他者の作品を鑑賞し、技法の美しさや、表現のよさを味わおうとしている。</p> |

3. 題材の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|----|----|-----|---|
| 1 (1) | <p>【発想や構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参考作品を鑑賞し、制作の流れを理解する。 | ○知 | | | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート |
| 2 (6) | <p>【制作①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の身近なものから発想を膨らませて下絵を描く。 表現意図に応じて素材を選択し、コラージュをして版を作る。 | ○技 | ○発 | | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品 活動の様子 |
| 3 (2) | <p>【制作②】</p> <ul style="list-style-type: none"> プレス機で印刷をする。 | | | ○態表 | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子 |
| 4 (1) | <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成した作品を相互鑑賞する。意見を交換しあい、感じたことや自分の考えをワークシートに記入する。 | | | ○態鑑 | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 活動の様子 |

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

美術Ⅱ

1. 題材名：

鎌倉彫（木彫）

2. 題材の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---------------------------------------|
| 技 日本の伝統的な技法を鑑賞し表現の美しさや技法について理解を深め、創意工夫をして表現している。 | 発 鎌倉彫の良さや構図について考え、主題を生成しようとしている。 | 態鑑 木彫の表現に関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる。 |

(14)時間扱い ○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|--------|--------|---------|---|
| 1 (1) | 【鑑賞①】 ・鎌倉彫の鑑賞をして、作品の特徴を理解する。 ・作品のテーマと説明を聞き、制作の見通しをもつ。 | | | ○ 態鑑 | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート ・活動の様子 |
| 2 (1) | 【発想や構想】 ・先人たちの図案を参考にしながら、自分らしい鎌倉彫のデザインを考える。 | | ○ 発 | | 【思考・判断・表現】 ・ワークシート |
| 3 (8) | 【制作①】 ・印刀・平刀を用いてモチーフを浮き彫りにする。 ・やすりで表面を整える。 | ○ 技 | | | 【知識・技能】 ・作品 |
| 4 (3) | 【制作②】 ・塗料を塗って表面を磨く。 | ○ 技 | | | 【知識・技能】 ・作品 |
| 5 (1) | 【鑑賞②】 ・自分の制作を振り返り、制作ノートに記入をする。 ・完成した作品を相互鑑賞する。 | | | ○ 態鑑 | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート ・活動の様子 |

指導と評価の計画

| 教科 | 外国語科 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 4 |
|----------------|--|--|--|---|---|
| Lesson5 | | | | | |
| | 内容のまとめりごとの評価規準 | | | 主な評価方法 | |
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| ・読むこと 聞くこと | <p>[知識] 助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears]+that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節]などの理解を基に, ブレイルノイエの開発者の学生時代について話されるインタビューの内容を詳細に聞き取る技能を身に付けている。</p> | <p>情報や自分の考えをまとめるために, ブレイルノイエの開発者の学生時代について話されるインタビューから, 必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握している。</p> | <p>情報や自分の考えをまとめるために, ブレイルノイエの開発者の学生時代について話されるインタビューから, 必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握しようとしている。</p> | <p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p> | |
| (やり取り) 話すこと | <p>[知識]助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears]+that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能]ブレイルノイエの利点と可能性について, 助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節]などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p> | <p>友達の意見を知り, 自分の考えをまとめるために, ブレイルノイエの利点と可能性について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。</p> | <p>友達の意見を知り, 自分の考えをまとめるために, ブレイルノイエの利点と可能性について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。</p> | <p>パフォーマンステスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p> | |
| (発表) 話すこと | <p>[知識]助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears]+that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> | <p>クラスの友達に紹介するために, ブレイルノイエの利点と活用方法について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら,</p> | <p>クラスの友達に紹介するために, ブレイルノイエの利点と活用方法について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分</p> | <p>パフォーマンステスト</p> | |

指導と評価の計画

| | | | | |
|----|---|---|---|-----------------------------|
| | [技能]ブレイルノイエの利点と活用方法について、助動詞+受け身, S+V+C[分詞], S+V+O[if節]などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝える技能を身に付けている。 | 情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えている。 | の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。 | |
| 書く | [知識]情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。 [技能]情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。 | ブレイルノイエの利点と活用方法についての発表用の原稿を、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、発表用の原稿を理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。 | ブレイルノイエの利点と活用方法についての発表用の原稿を、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、発表用の原稿を理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。 | ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察 |

| 時間 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 主 |
|---------------|---|---|---|---|
| 1 〜 9 | <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントに対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ユニバーサルデザインフォントについて、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ユニバーサルデザインフォントについて、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ユニバーサルデザインフォントについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) | ○ | | ○ |
| 10 〜 11 | <ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 ユニバーサルデザインフォントについての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 | | ○ | ○ |
| 後日 | <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト(リスニングテストを含む) 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ポートフォリオ(振り返り)の記述から、学習への取組状況を評価します。 | ○ | | ○ |

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

| 教科 | 外国語科 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 4 |
|----------------|---|--|--|-----|--|
| Lesson6 | | | | | |
| | 内容のまとめりごとの評価規準 | | | | 主な 評価 方法 |
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に 学習に取り組む態度 | | |
| ・読むこと 聞くこと | <p>[知識] It+is[was]+said+that 節, 形式目的語itとthat 節, 形式目的語itとto 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] It+is[was]+said+that 節, 形式目的語itとthat 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞などの理解を基に, キャッシュレス社会について話される会話の内容を詳細に聞き取る技能を身に付けている。</p> | <p>他者の意見を知り, 情報や自分の考えをまとめるために, キャッシュレス社会に対する賛成・反対の意見を述べている会話から, 必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握している。</p> | <p>他者の意見を知り, 情報や自分の考えをまとめるために, キャッシュレス社会に対する賛成・反対の意見を述べている会話から, 必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握しようとしている。</p> | | ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察 |
| (やり取り) 話すこと | <p>[知識] It+is[was]+said+that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 新紙幣やキャッシュレス社会について, It+is[was]+said+that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考え・意見を整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p> | <p>友達の考えを踏まえて, 自分の考えや意見をまとめるために, 新紙幣やキャッシュレス社会に対する賛成・反対の両方の意見について聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考え・意見を整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。</p> | <p>友達の考えを踏まえて, 自分の考えや意見をまとめるために, 新紙幣やキャッシュレス社会に対する賛成・反対の両方の意見について聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考え・意見を整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。</p> | | パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察 |
| (発表) 話すこと | <p>[知識] It+is[was]+said+that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> | <p>自分の意見を伝えるために, キャッシュレス社会の長所・短所について聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意</p> | <p>自分の意見を伝えるために, キャッシュレス社会の長所・短所について聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話し</p> | | パフォー マンステ スト |

指導と評価の計画

| | | | | |
|----|---|---|---|--|
| | <p>[技能]キャッシュレス社会の長所・短所について、It+is[was]+said+that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝える技能を身に付けている。</p> | <p>して詳しく話して伝えている。</p> | <p>て伝えようとしている。</p> | |
| 書く | <p>[知識] It+is[was]+said+that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能]キャッシュレス社会の長所・短所についての発表用の原稿を, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p> | <p>自分の意見を伝えるために, キャッシュレス社会の長所・短所についての発表用の原稿を, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。</p> | <p>自分の意見を伝えるために, キャッシュレス社会の長所・短所についての発表用の原稿を, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。</p> | <p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p> |

| 時間 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 主 |
|-----------------------|---|---|---|---|
| 1 5 9 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新紙幣やキャッシュレス社会に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 新紙幣やキャッシュレス社会について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 新紙幣やキャッシュレス社会について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 新紙幣やキャッシュレス社会について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) | | | ○ |
| 1 0 5 1 1 | <ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 新紙幣やキャッシュレス社会についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 | | ○ | ○ |
| 後日 | <ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト (リスニングテストを含む) 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ (振り返り) の記述から、学習への取組状況を評価します。 | ○ | | ○ |

指導と評価の計画

| 教科 | 外国語科 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 4 |
|----------------|---|--|---|-----|---|
| Lesson7 | | | | | |
| | 内容のまとめりごとの評価規準 | | | | 主な評価方法 |
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| ・読むこと 聞くこと | <p>[知識] 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> | <p>色の心理的効果について、情報や自分の考えをまとめるために、色の心理的効果についての論説文から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握している。</p> | <p>色の心理的効果について、必要な情報や自分の考えをまとめるために、色の心理的効果についてのラジオ番組の解説から、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。</p> | | <p>ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察</p> |
| | <p>[技能] 色の心理的効果について、関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に、色の心理的効果についての論説文を詳細に読みとったり、ききとったりする技能を身に付けている。</p> | | | | |
| (やり取り) 話すこと | <p>[知識] 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> | <p>友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、色の心理的効果について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。</p> | <p>友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、色の心理的効果について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。</p> | | <p>パフォーマンステスト 振り返りの記述 活動の観察</p> |
| | <p>[技能] 色の心理的効果について、関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり、伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p> | | | | |

指導と評価の計画

| | | | | |
|--------------|--|---|---|-------------------------------------|
| (発表) 話すこと | <p>[知識] 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> | <p>自分の考えを友達に提案するために, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えている。</p> | <p>自分の考えを友達に提案するために, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えている。</p> | パフォーマンス テスト |
| | <p>[技能] 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝える技能を身に付けている。</p> | | | |
| 書くこと | <p>[知識] 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> | <p>自分の考えを友達に提案するために, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色についての発表用の原稿を, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。</p> | <p>自分の考えを友達に提案するために, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色についての発表用の原稿を, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。</p> | ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察 |
| | <p>[技能] 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色についての発表用の原稿を, 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p> | | | |

| 時間 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 主 |
|-------------|---|---|---|---|
| 1 〜 9 | <ul style="list-style-type: none"> ● 色の心理的効果に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 色の心理的効果について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 色の心理的効果について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 色の心理的効果について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) | ○ | | ○ |

指導と評価の計画

| | | | | |
|-----------------------|--|---|---|---|
| 1 0 5 1 1 | <ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 色の心理的効果についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 | | ○ | ○ |
| 後日 | <ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト（リスニングテストを含む） 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ（振り返り）の記述から、学習への取組状況を評価します。 | ○ | | ○ |

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

| 教科 | 外国語科 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 4 |
|----------------|--|---|---|-----|--|
| Lesson8 | | | | | |
| | 内容のまとめりごとの評価規準 | | | | 主な 評価 方法 |
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に 学習に取り組む態度 | | |
| 聞くこと 読むこと | <p>[知識] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの理解を基に, 納豆パウダーを実演販売するセールストークの内容を詳細に聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。</p> | <p>情報や自分の考えをまとめるために, 納豆パウダーが汚水を浄化するしくみについて話される実演販売のセールストークから, 必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握している。</p> | <p>情報や自分の考えをまとめるために, 納豆パウダーが汚水を浄化するしくみについて話される実演販売のセールストークから, 必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握しようとしている。</p> | | ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察 |
| 話すこと （やり取り） | <p>[知識] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 納豆パウダーの成分, 開発の経緯や利点について, 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p> | <p>友達の見解を知り, 自分の考えをまとめるために, 納豆パウダーの成分, 開発の経緯や利点について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。</p> | <p>友達の見解を知り, 自分の考えをまとめるために, 納豆パウダーの成分, 開発の経緯や利点について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。</p> | | パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察 |

指導と評価の計画

| | | | | |
|--|--|---|---|--------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">(発表) 話すこと</p> | <p>[知識] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <hr/> <p>[技能] 納豆パウダーという製品の利点などについて, 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して, 実例を挙げながら動画の形で詳しく話して伝える技能を身に付けている。</p> | <p>納豆パウダーという製品を広めるために, 製品の利点などについて, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して動画の形で詳しく話して伝えている。</p> | <p>納豆パウダーという製品を広めるために, 製品の利点などについて, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して動画の形で詳しく話して伝えようとしている。</p> | <p>パフォーマンステスト</p> |
| <p style="text-align: center;">書くこと</p> | <p>[知識] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <hr/> <p>[技能] 納豆パウダーを販売促進するためのスクリプトを, 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p> | <p>納豆パウダーという製品を広めるために, 製品の利点などについて, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して, 販売促進するためのスクリプトを詳しく書いて伝えている。</p> | <p>納豆パウダーという製品を広めるために, 製品の利点などについて, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して, 販売促進するためのスクリプトを詳しく書いて伝えようとしている。</p> | <p>ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察</p> |

指導と評価の計画

| 時間 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 主 |
|-------------|---|---|---|---|
| 1 5 9 | <ul style="list-style-type: none"> ● 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） | ○ | | ○ |
| 1 0 5 | <ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 | | ○ | ○ |
| 後日 | <ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト（リスニングテストを含む） 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ（振り返り）の記述から、学習への取組状況を評価します。 | ○ | | ○ |

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭総合

1 単元名：

被服製作実習

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| 被服製作の意義を理解し、家庭生活および地域での衣生活の充実・向上のために必要な基礎的・基本的知識を身につけている。 | 被服製作の意義を理解し、家族の衣生活の充実や地域のイベントなどに際し、役立てることができる。 | 被服製作に関心をもち、自分が身につける被服への理解、家族のために製作する日常着づくりに役立てることに意欲的である。 |

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

| | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|---|---|---|
| 1 (5) | <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、学習の見通しを持つ。 【エプロン製作】 平面構成の被服づくりを簡易的に体験する。 エプロンの裾やポケットをミシン縫いや基礎縫いをする。 ポケットの刺繍などで個性を表現する。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】学習プリントの記述、作品製作 【思考・判断・表現】ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】活動観察、学習プリントの提出 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

情報モラル

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------------------------|--|--|
| 社会生活を送る上で必要な情報モラルの知識を身に付けている。 | 情報モラルを踏まえて、実生活でどのような行動が必要になるか判断することができる。 | 情報モラルの知識を身に付けつつ、行動に結び付けようと、粘り強く取り組もうとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|--|
| 1 (4) | <ul style="list-style-type: none"> ・オアシスヨを唱和する。 ・動画を視聴して、ワークシートに内容をまとめる。 ・振り返りを書く。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 プリントの記入内容 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りの記入内容 |
| 2 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・オアシスヨを唱和する。 ・授業内小テストに取り組む。 ・テストの内容を踏まえ、実生活で取り組むべき行動を考える。 ・振り返り書く。 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りの記入状況 |

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|----------------------------|---|
| 授業に積極的にに関わり、様々なことに関心を持っている。又、働く事への興味を広げ、卒業後の自分を意識できている。 | 自分のことを相手に伝えられる。相手の気持ちがわかる。 | 様々な状況の中で、自分がしなければならないことを取捨選択し、自ら実践している。 |

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|--------|------------|------------|--|
| 1 (1) | ○ビジネスマナー復習 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・昨年のビジネスマナーで学習したことを確認する。 ・鏡を見て、身だしなみを整える。 ・振り返りを書く。 | ○ | | ○ ○ | 【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況 |
| 2 (9) | ○日常生活・金銭管理 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・お小遣い帳のつけ方を学び、実践する。 ・カード支払いについて学び、特徴を理解する。 ・お金にかかわるトラブルを知り、対策を考える。 ・生活費の種類を知り、給料の使い方について考える。 ・振り返りを書く。 | ○ ○ | ○ ○ | ○ ○ | 【知識・技能】 ノートの記入内容 課題取組状況 定期試験 【思考・判断・表現】 ノートの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況 |
| 3 (1) | ○社会的自立の意味と心構え ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・進路先を決めるために必要なことを確認する。 ・振り返りを書く。 | ○ | | ○ ○ | 【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況 |

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

文書作成実習

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------------------------|--------------------------------|--|
| 文書作成に必要なドキュメントの機能を理解している。 | ドキュメントの機能を活用し、目的に合った文章を作成している。 | ドキュメントの機能を理解しつつ、主体的に条件に合った文章を作成しようとしている。 |

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|---|---|---|---|---|
| 1 (4) | <ul style="list-style-type: none"> ・オアシスヨを唱和する。 ・実際に操作をしながら、段落や画像挿入などの機能を学ぶ。 ・振り返りを書く。 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 プリントの記入内容 課題の取り組み内容 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りの記入内容 |
| 2 (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・オアシスヨを唱和する。 ・実技課題に取り組む。 ・振り返りを書く。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 実技課題 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りの記入状況 |

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

文章作成と著作権

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------------|--------------------------------|--|
| 文書作成の基礎知識について理解している。 | 著作権への理解を踏まえ、著作物を正しく利用する方法を考える。 | 文書作成や保存についての手順やルール、著作権の大切さを、その理由と共に理解している。 |

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|---|--------|--------|--|
| 1 (6) | ○文書保存と印刷 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習する。 ・振り返りをノートに書く。 ・作成した文章などの保存や保存先について理解する。 ・作成した文章などを印刷し、自分で添削する。 | ○ | | ○ ○ | 【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 実技テスト 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況 |
| 2 (6) | ○著作権法 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習する。 ・振り返りをノートに書く。 ・著作権について理解する。 ・著作権を踏まえて、著作物を正しく適切に利用する方法を考える。 | | ○ ○ | ○ ○ | 【思考・判断・表現】 実技課題 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況 |

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|----------------------------|---------------------------------------|
| 授業に積極的に関わり、様々なことに興味を持つ。又、働く事への興味を広げ、卒業後の自分を意識できている。 | 自分のことを相手に伝えられる。相手の気持ちがわかる。 | 様々な状況の中で、自分がしなければならないことを取捨選択し、自ら実践する。 |

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

| 次 | 主な学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----------|--|--------|--------|--------|--|
| 1 (1) | ○ビジネスマナー復習 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・1学期のビジネスマナーで学習したことを確認する。 ・鏡を見て、身だしなみを整える。 ・振り返りをノートに書く。 | | ○ | ○ | 【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況 |
| 2 (6) | ○日常生活・金銭管理 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・お小遣い帳のつけ方を学び、実践する。 ・カード支払いについて学び、特徴を理解する。 ・お金にかかわるトラブルを知り、対策を考える。 ・生活費の種類を知り、給料の使い方について考える。 ・振り返りをノートに書く。 | ○ ○ | ○ ○ | ○ | 【知識・技能】 ノートの記入内容 課題取組状況 定期試験 【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況 |
| 3 (5) | ○社会的自立の意味と心構え ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・進路先を決めるために必要なことを確認する。 ・就労や訓練機関など卒業後の進路先について学ぶ。 ・進路先を決定するまでの流れを確認し、自分の進路について考える。 ・福祉事業所やハローワークなど進路について相談できる場所について知る。 ・振り返りをノートに書く。 | ○ ○ | ○ ○ | ○ ○ | 【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況 |